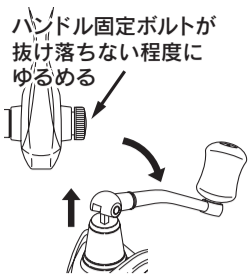


使用前のご注意

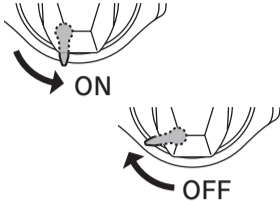
■ハンドルの折りたたみ方法

ハンドルは反対側の固定ボルトによるネジ込み式になっています。たたむ時はハンドル固定ボルトをゆるめ、ハンドル軸をやや引き出し、本体側に倒してください。のばす時はたたむ時と逆にします。
※ハンドル固定ボルトをゆるめ過ぎますと本体より抜け落ちますのでご注意ください。



■ストッパーレバーの操作方法

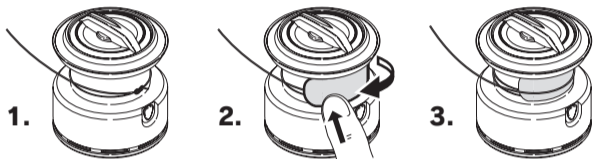
通常は、ストッパー ON で使用します。
●ON 逆転止めが作動し、ハンドルは正転方向にしか回りません。
●OFF 逆転止めが解除され、ハンドルは正転、逆転どちらの方向にも回ります。



■糸止めシールの使用方法

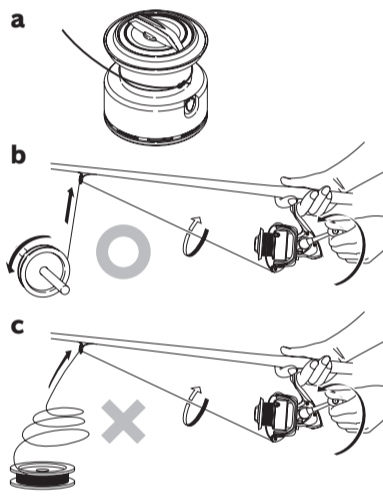
このリールには PE ライン用に糸止めシールが入っています。ラインの巻き始めに下記のようにお使いください。このシールを使用することでライン巻き始めのライン滑りがなくなり、PE ラインをスプールに確実に巻くことができます。

1. PE ラインのチチワをスプールに締め込みます
2. この締め込んだラインの結び目の上にシールをピッタリと確実に貼ります。(指などで強く押ししてください。)
3. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。(最初は少しゆっくりと巻くようにします。)
4. PE ラインは滑りやすく、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちり巻くことが必要です。



■糸の巻き方

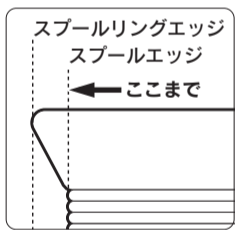
1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。(図 a)
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度(スプールに巻かれた糸にツメを押し込めない程度)なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。(図 b) 図 c のようにならないようご注意ください。



尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを充分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱(抵抗熱)によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻量

スプールエッジまで巻かれることをおすすめします。(右図)
スプーリングのエッジの位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合は AR-C スプールの性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



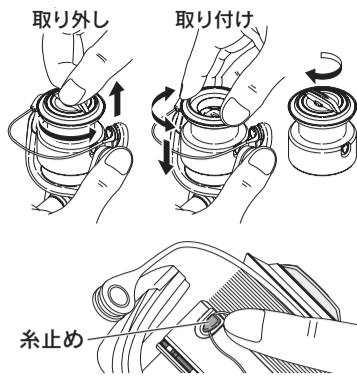
■糸ヨレについて

ラインローラー (SR パワーローラー) は、糸を巻き取る時に、糸のヨレを軽減させる役割をもちます。但し、下記のような状況によっては、ローラーの性能を発揮できず、糸ヨレが発生する場合があります。

1. もともと糸がヨれている時。
2. 仕掛けが回転して、ヨリがかかる時。
3. 非常に軽い仕掛けを巻き取り、ローラーが回転していない時。
4. その他糸にかかるテンションが低い時。
5. ドラグを多用した時。
6. キャスティング飛距離が短い時。

■スプールの着脱方法

- 取り外し方 ドラグノブを反時計回りに外れるまで回して下さい。
- 取り付け方 スプールを左右に回しながら、完全に底当たりするまで押し込んで下さい。ドラグノブを時計回りに回すと締め付ける事ができます。



■糸の止め方

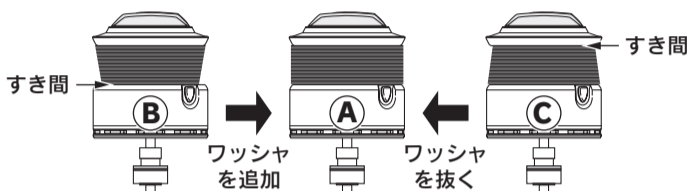
ツメの下側から糸を通して固定して下さい。



■糸巻形状の調整方法

初期設定は下記それぞれの種類で下図 A のようにフラットになるように設定されています。巻き上げテンションは、3号 (12lb) 以下のナイロン、フロロラインが約 160g、3.5号 (14lb) 以上のナイロン、フロロラインが約 300g、そして PE ラインは 2号以下が約 500g、2.5号以上が約 1kg です。PE ラインは十分テンションをかけて巻き上げて下さい。スプールに巻かれた糸に、爪が食い込まない事が目安です。又、下記以外の号数の糸巻量は「仕様」をご覧ください。

品番	糸の種類	巻量	品番	糸の種類	巻量
1000S	ナイロン 3lb	100m	2500S	フロロ 5lb	100m
C2000HGS	ナイロン 4lb	100m	C3000HG	ナイロン 3号	150m
2000S	ナイロン 4lb	100m	4000HG	ナイロン 4号	150m



●調整方法

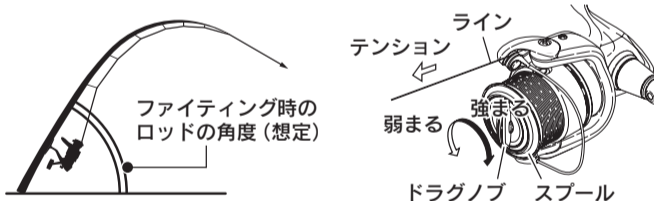
上記の基準糸より直径の細いラインを使用すると上図 B の形状となり、逆に太い糸を使用すると C の形状となります。極端な B (=逆テーパ) 形状や C (=順テーパ) は、ともにライントラブルの原因となります。付属のスプーリング調整ワッシャで、A (=フラットテーパ) に巻き上げて下さい。調整方法は下記の通りです。

- B 形状の場合**… 付属の調整ワッシャを 0.25mm から追加して少しづつ増やしていき、A の形状に近づけて下さい。
 - C 形状の場合**… 付属の調整ワッシャを 0.25mm から少しづつ減らしていき、A の形状に近づけて下さい。
- 付属しているスプーリング調整ワッシャは、0.25mm が 2 枚、0.5mm が 2 枚です。尚、使用糸の特性(堅さ、編み方、表面コートの有無等)によって、同じ号数 (lb 数) でも、糸巻量や糸巻形状が変化します。
※出荷段階では、基準ラインを使用した場合は特に A (=フラットテーパ) に巻き上げる為の調整は必要ありません。

■ドラグの調整方法

ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ(ラインブレイク)を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通して下さい。
2. ストッパーレバーを「ON」の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保持して、図のように糸を引き出しながらドラグノブの締め付けを調節して下さい。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出して下さい。また、ドラグ力は「実用ドラグ力」の範囲で設定して下さい。



■ハンドルノブの取り外し方 (パドル型)

1. 工具を引っ掛けてキャップを抜き取ります。(工具は付属されておりません。工具は当社夢屋商品に同梱されている工具をご使用下さい。)
2. プラスドライバーでノブ内部のボルトをゆるめて外します。



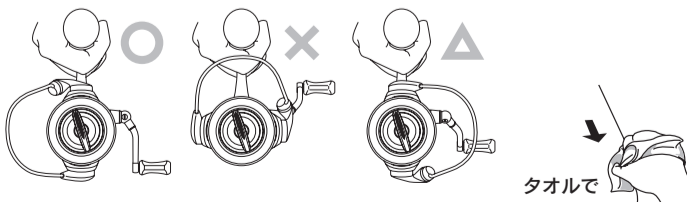
■ハンドルノブの取り外し方 (T型)

1. ネジ 2 本を緩めて、ハンドルノブ銘板を外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



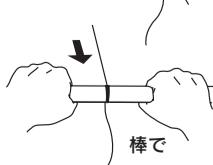
■キャスト時の注意事項

図の「X」の位置で思い切り投げると、ベールが戻って糸が切れる可能性があります。「Δ」の位置はキャスト後、ハンドルオートリターンしにくい事があります。



■根掛かりした時の対処方法

根掛かりした時は、竿やリールで無理におおらないで、手にタオル等の布きれを巻くか、丈夫な棒状のものに糸を巻き付けてゆっくりと引っ張るようにして下さい。ハサミ等で手元付近の糸を切ると、現場に糸が多く残るのでおやめください。



使用後のご注意

■保管上のご注意

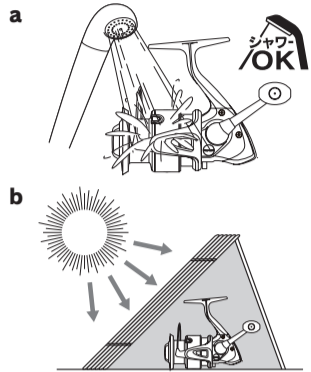
- 海でのご使用後は、「使用後のご注意」「水没時の緊急措置」の方法で塩分を取り除き、良く乾燥させて保管ください。保管の際は必ず竿から取り外して下さい。
- 塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で密閉された空間(自動車のトランク、ダッシュボード)に長時間放置されますと腐蝕を起こす可能性がありますので、なるべく乾燥した冷暗所に保管して下さい。

■必ず竿から外して下さい。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

■水洗いして下さい。

まず、ドラグ内に水が入らないように、ドラグを締め込んで下さい。次に、シャワー等の真水で、リールに付着した塩分、砂、汚れを水洗いして下さい。(図 a) 温水はグリスを洗い流す恐れがありますのでおやめください。又、同様の理由で、リール本体を水没させないで下さい。



■乾燥させて下さい。

しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干しして下さい。その際ドラグをゆるめ、オイルインジェクションの注油口キャップを外すと効果的です。尚、直射日光、ドライヤー等は、内部のムレを引き起こします。お避けください。(図 b)



■注油して下さい。

オイルとグリスは下図を参考にさせていただき、それぞれ間違えないように噴霧して下さい。尚、グリス、オイルは弊社純正品(下記参照)をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。

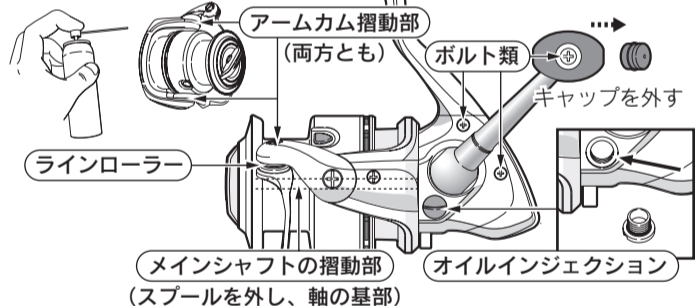
SP-003H (メンテスプレーセット)	¥1,900
SP-013A (オイルスプレー)	¥1,050
SP-023A (グリススプレー)	¥1,100
DG01 (リールドラグ部専用グリス)	¥800

※最寄りの販売店にてお買い求め下さい。
上記は 2010 年 3 月現在の品番及び税抜本体価格です。

尚、オイルインジェクションからオイルを噴霧する頻度は、水洗い・乾燥後及び、釣行 5 回につき 1 度、または、次の釣行までの期間が 1 ヶ月以上ある場合に 1 度を目安にしてください。

又、1 度の噴霧(注油)時間は約 1 秒です。注油後、注油キャップは必ずお閉めください。逆流したオイルで服を汚す場合があります。ドラグ部にはシマノドラグ専用グリス(上記参照)以外は塗布しないでください。ドラグ専用グリスを必要の方は、アフターパーツで取り扱っておりますので最寄りの販売店にてご注文ください。※オイルインジェクションからのグリススプレーの噴霧はお避けください。ストッパーがきかなくなることがあります。

オイル(スプレー) 使用部品箇所



※グリスは、分解してグリスアップする場合以外は必要ございません。

水没時の緊急措置

万が一、リールを水没させてしまい内部が浸水した場合は、下記の応急処置をとってください。

●淡水の場合

オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして水を抜き、充分に乾燥させた後、弊社純正オイルスプレーを 1~2 秒間注油して下さい。

●海水/汽水の場合

真水で水洗いをしてください。その後、オイルインジェクションの注油口キャップを外し、その部分が下になるようにして完全に塩水を抜き、内部が乾燥するのを待たずに、最寄りの販売店を通じて弊社サービスに修理品としてお預けください。

■移動時のご注意点

タックルバッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。特に、塩入ワームを本体に密着させたまま保管されますと、腐蝕する恐れがあります。又、濡れたまま湿度の高い状態で、密閉された空間(自動車のトランク、ダッシュボード)に放置されますと腐蝕を起こす可能性があります。

■落下にご注意下さい。

リールを竿に取り付けた状態で、アスファルト、コンクリート等の地面に強く落下させると、衝撃でリールの脚部が折れることがありますのでご注意ください。(右図)

■水中での使用は出来ません。

水中での使用には対応していません。絶対におやめください。

